

基本情報

事業所名	児童発達支援センター ことり園
作成年月日	2025年3月17日
法人理念	1.私たちは障がいのある人もない人も共に暮らしやすい優しい社会を創ります。 2.私たちは一人ひとりの人が豊かな人生を送れるようその人の立場に立って工夫し創造します。
支援方針	子どもたち一人ひとりが持つ無限の可能性を大切に、楽しく過ごしながら心身ともに健やかに成長できる環境を提供します。そのために、利用する幼児一人につき一人の指導員を配置し、個々の発達に寄り添ったきめ細やかな支援を行います。
営業時間	8:30～14:30
送迎実施の有無	保護者が行うものとする

主な行事

<ul style="list-style-type: none"> ★ 親子遠足 ★ 個人面談 ★ おはなし会 ★ 水遊び ★ 夏祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ★ 親子レク ★ 親子クリスマス会 ★ お別れ遠足 ★ 卒園式 ★ 避難消火訓練
---	--

取り組み

<p><u>移行支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼稚園保育所と定期的な情報共有 ○ 就学にむけた移行支援 	<p><u>家族支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者向けおはなし会 ○ 親子行事の開催 ○ 連絡帳 ○ 個人面談の実施 ○ 保護者の方へ情報提供
<p><u>地域支援地域連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モニタリングを通じた情報共有、支援の方向性の確認 ○ 必要に応じたケース会議を開催 ○ 自立支援協議会こども部会に参加 ○ 散歩や公園遊び時に地域住民の方へ挨拶、近所の子どもたちと交流 	<p><u>職員の質の向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マッサージ研修 ○ マカトンサイン研修 ○ 進行研修 ○ 支援技術研修

本人支援と5領域

日々のプログラムを通して5領域を育みます。

●健康・生活

●運動・感覚

●認知・行動

●言語・コミュニケーション

●人間関係・社会性

【一日の流れの例】

活動	プログラム	内容目的	5領域
朝のプログラム	●体操	✓一日の始まる合図	●●●●●
	●月日、天気	✓写真カードを使うことで数字や文字、天気への認知形成	●●●
	●呼名、担当発表	✓写真カードを使い認知形成 ✓返事ができたことを褒め、自信をつける	●●●●●
	●手遊び	✓手本を見て理解→自分の手を動かすことへ移行	●●
	●楽器遊び	✓楽器の使い方を理解する ✓楽器を他児へ配る手伝い→人の役に立っていることを理解 ✓楽器を選択する(他をあきらめる経験) ✓音楽に合わせて演奏する	●●●●●
	●マッサージ	✓ボディイメージをつける ✓感覚の調整(過敏鈍麻) ✓人の受け入れをよくする ✓身体の確認(怪我の有無など) ✓体幹の強化 ✓外活動前の準備運動 ✓触れ合い	●●●●●
	●シーツブランコ	✓順番を待つ練習 ✓1人1回ずつ。もっとやりたいが我慢することを覚えていく ✓揺れの刺激により前庭覚へ刺激を入れることで心の安定を図る ✓指示理解を促す	●●●●●
散歩・公園	✓手をつなぎ歩く練習 ✓交通ルールの理解(右側通行、横断歩道など) ✓遊具遊びによる粗大運動、体力向上	●●●●●	
給食	✓楽しい時間が基本 ✓準備、片付けの練習 ✓無理なく食の幅を広げていく(興味を持っただけで褒めるなどスモールステップで) ✓食具の練習 ✓歯磨きの練習。仕上げ磨きをすることで口腔内の健康チェック	●●●	
フリータイム	✓大人の介入で一人遊びから集団遊びへの促し ✓ごっこ遊びやルールのある遊びを展開 ✓玩具の準備や片付け ✓時間で気持ちを切り替える練習	●●●●●	
帰りのプログラム	●課題遊び	✓お手本を見て前に出て発表形式で行う ✓上手にできることが目的ではなく、前に出れたことだけで○ ✓一人ひとりの「できた」を大切に、些細なことでも見逃さず褒める	●●●
	●絵本	✓集中して聞く時間 ✓文字や音声言語に触れることで発語を促す	●●●

【その他の活動・取り組み】

活動	内容と目的	5領域
●定時排泄	✓着脱の練習 ✓排泄の記録を取りながら成功体験を増やし、トイレへ促していく	●●
●粘土遊び	✓感覚遊びによる感覚認知 ✓力加減の練習 ✓想像力を育む	●●
●製作	✓季節を感じ取る ✓年齢、成長に合わせた題材を設定(できそうでできない部分)→成功体験を積む ✓ハサミやのりを使うことで指先の練習 ✓工程の理解 ✓のりを使った感覚遊び	●●●